

第4章 高大連携を問う福祉教育の理念と実践

引用・参考文献

池田幸也 (2004) 地域社会における学びの再編に向けて, 日本福祉教育・ボランティア学習学会年報, 9, p.30-53

伊藤篤・高橋智 (1994) 高校福祉科の教育のあり方に関する研究: 全国福祉科実態調査の分析, 日本福祉大学研究紀要, 91(1), p. 210-173

大橋謙策 (2005) 高校福祉科教員養成における教育課題, 日本社会事業大学社会事業研究所年報, 41, p. 175-184

岡多枝子 (2014) テキスト Welfare—福祉—, 名鉄局印刷株式会社

岡多枝子 (2015a) 青年期に福祉を学ぶ—福祉系高校の職業的及び教育的レバンス—, 学文社

岡多枝子 (2015b) 笑顔があふれる「ふくし」社会とは?—愛知県立一宮北高等学校との高大連携— 日本福祉大学教職課程研究論集・教職課程年報, 13, p. 61-66

岡多枝子・片山善博・三並めぐる (2015c) 「ふくし」教育における「HBV 感染者理解」の学習効果 Learning Effect of “Understanding Hepatitis B Virus Patients” at “Fukushi” Education Setting, 日本福祉大学全学教育センター研究紀要, 3, p. 1-10

岡多枝子・大浦明美・奥山留美子 (2016) 青年期における福祉の学び: 高大連携, 日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要, 27, p. 6-12

奥山留美子 (2018) 多様な主体と連携した教育活動をサービ斯拉ーニングの視点で読み取る: 高校が地域福祉の主体を育てる, 日本福祉教育・ボランティア学習学会第24回学会あいち・なごや大会, 要旨集 p. 114-115

閣議決定 (2023) 教育振興基本計画 (令和5年6月16日)

加藤聖子・橋本伸也 (2018) 福祉系高校の現状と福祉科教員養成の課題, 人間生活学研究, 25, p.29-36

川喜田二郎 (1986) KJ法—渾沌をして語らしめる, 中央公論新社

河村美穂 (2019) 当事者が福祉教育プログラムを創り・実践するということの意味, ふくしと教育, 大学図書出版, 26, p. 4-7

北本佳子 (2003) 福祉科教員養成の現状と高校・大学・地域の連携: 福祉科教育法に関するアンケート調査からの質的研究, 福祉科教育法の構築 (日本福祉教育・ボランティア学習学会年報), 万葉舎, p. 62-78

「高校福祉における情報教育を考える会」ホームページ

<https://sites.google.com/view/ict-fukushi/> (2024年5月24日アクセス)

高等学校福祉教育方法・教材開発研究会 (2020) 新学習指導要領に基づく福祉系高等学校の教育実態に関する調査研究, p. 39-92

小林洋司 (2023) 高大連携による福祉の学び [その1] 大学側からみた高大連携実践, ふくしと教育, 大学図書出版, 35, p. 54-59

後藤康文・野田秀孝 (2014) 福祉教育活動に関する考察, 富山大学人間発達科学部紀要, 9 (1), p. 177-187

櫻井栄里 (2019) 発達障害当事者がつくる福祉教育プログラム, ふくしと教育, 大学図書出版, 26, p. 8-11

佐藤春子 (2022) 地域で取り組むエッセンシャルワーカーへの理解, ふくしと教育, 大学図書出版, 33, p. 18-21

沢拓郎 (2024) プログラミング学習から考える福祉の学び, ふくしと教育, 大学図書出版, 38, p. 46-47

軸丸政代 (2011) 高校における福祉教育：当事者・社協・大学との連携について, 日本福祉教育・ボランティア学習学会第17回京都大会, 要旨集 p. 104-105

全国福祉高等学校長会 (2021) 福祉系高等学校教員ハンドブック 2021

高木 諒・鈴木 幹治(2020)コロナ禍における高校福祉科教員の取組：「つながり」を意識したホームページ運営, 日本福祉教育ボランティア学習学会第26回オンライン大会要旨集, p. 66-67

高橋智 (1994) 高校福祉科教師になるために：期待される高校福祉科の教師への道, 宇田川宏・伊藤篤・高橋智編著, 教職への招待：教育と福祉をつないで, ミネルヴァ書房, p. 253-272

龍村敦子 (2019) ふだんのくらしの中で共に生きる力を育むために, ふくしと教育, 大学図書出版, 26, p. 22-25

田中真秀 (2019) コアカリキュラムを網羅した教職課程の実態：教育職員免許法改正に伴う現状と課題, 川崎医療福祉学会誌, 28 (2), p. 493-500

塚田典子 (2022) 日本の外国人介護労働者受け入れの成果と課題：今後の方向性について考える, 生活協同組合研究, 558, p. 37-50

辻本智加子 (2009) 地域に根ざした福祉教育を目指して, ふくしと教育, 大学図書出版, 4, p. 31-35

辻本智加子 (2023) 教科『福祉』と高等学校『福祉関連学科』基礎資料, 『令和5年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会〔職業に関する教科〕福祉部会配布資料』

辻本智加子 (2024) 地域における高校福祉教育の在り方と展望, 令和6年度全国福祉高等学校長会第28回総会・研究協議会並びに福祉担当教員等研究協議会熊本大会別冊資料

茂呂輝夫・河村茂雄 (2023) 特別な支援を要する高校生に関する先行研究の展望: 高等学校における特別支援教育を推進する上での課題, 早稲田大学大学院教育学研究科紀要, 別冊 30-2, p. 129-137

日本福祉教育・ボランティア学習学会 (2017) 共生社会を創造するサービス・ラーニングにおける評価研究, 第23回学会長野大会 in 信州うえだ 特別課題研究③, 要旨集 p. 48-50

野川すみれ (2019) 障害者が福祉教育に参加することによる変化と意義: 6人の障害者へのインタビュー調査を通して, 日本福祉教育・ボランティア学習学会紀要, 32, p. 5-16

原田正樹 (2000) 福祉教育プログラムの構造とその実践的課題: 福祉教育の理論と実践, 相川書房

深谷和義 (2022) 高等学校での職業に関する専門教科における「情報 I」を代替可能な科目でのプログラミング教育内容, 相山女学園大学教育学部紀要, 15(1), p. 57-61

藤井佳子 (2020) 高等学校福祉科教員養成の現状と課題に関する一考察: 福祉科教育法の実践を通して, 教職研究, 34, p. 73-86

藤井佳子 (2021) 福祉系高校における LINE オープンチャットを活用したオンライン授業の展開と課題: 教員および生徒に対するアンケート調査から見たこと, 教職研究, 36, p. 13-29

藤岡謙一 (2017) コミュニティスクールに関する最近の動向, 2017年度全国福祉教育セミナー

宮崎幸弘・藤村裕一 (2021) 高等学校の職業学科における情報に関する専門科目による必修履修情報科目の履修代替に関する担当教員の意識, 日本教育工学会研究報告集, 4, p. 229-236

三好宏和 (2019) 車いす当事者がつくる福祉教育プログラム, ふくしと教育, 大学図書出版, 26, p. 12-15

村川弘城 (2023) 高等学校「福祉情報」におけるプログラミング的思考を育む教材の開発とその視点: トランプゲーム「大富豪」を利用したプログラミング教育から, ふくしと教育, 大学図書出版, 35, p. 10-13

- 文部科学省 (2009) 高等学校学習指導要領解説 総則編
- 文部科学省 (2017) 小学校学習指導要領解説 総則編
- 文部科学省 (2018) 高等学校学習指導要領解説 総則編
- 文部科学省 (2018) 中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間
- 文部科学省 (2018) 高等学校学習指導要領 (平成 30 年告示) 解説：福祉編
- 文部科学省 (2018) 高等学校学習指導要領 (平成 30 年告示) 解説：情報編
- 文部科学省 (2018) 高等学校学習指導要領, p. 422-434
- 文部科学省 (2019) 特別支援学校学習指導要領解説 総則編等 (高等部)
- 文部科学省 (2022) 「教師不足」に関する実態調査
- 文部科学省 (2024) 令和 5 年 4 月 1 日現在の教員免許状を取得できる大学一覽, https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoin/daigaku/1286948.htm (2024 年 6 月 9 日アクセス)
- 矢幅清司 (2023) 高等学校における福祉教育：これまでの取組とこれからの福祉系高校：高校時代に福祉を学ぶ意義, ふくしと教育, 大学図書出版, 37, p. 68-75
- 山形県立高島高等学校 (2018) 知っごえたかはた, 平成 29 年度地域の課題解決, 魅力発信プロジェクト等の取組み
- 吉田高子 (2024) 高大連携による福祉の学び [その 2] 高校側からみた高大連携実践, ふくしと教育, 大学図書出版, 38, p. 54-59